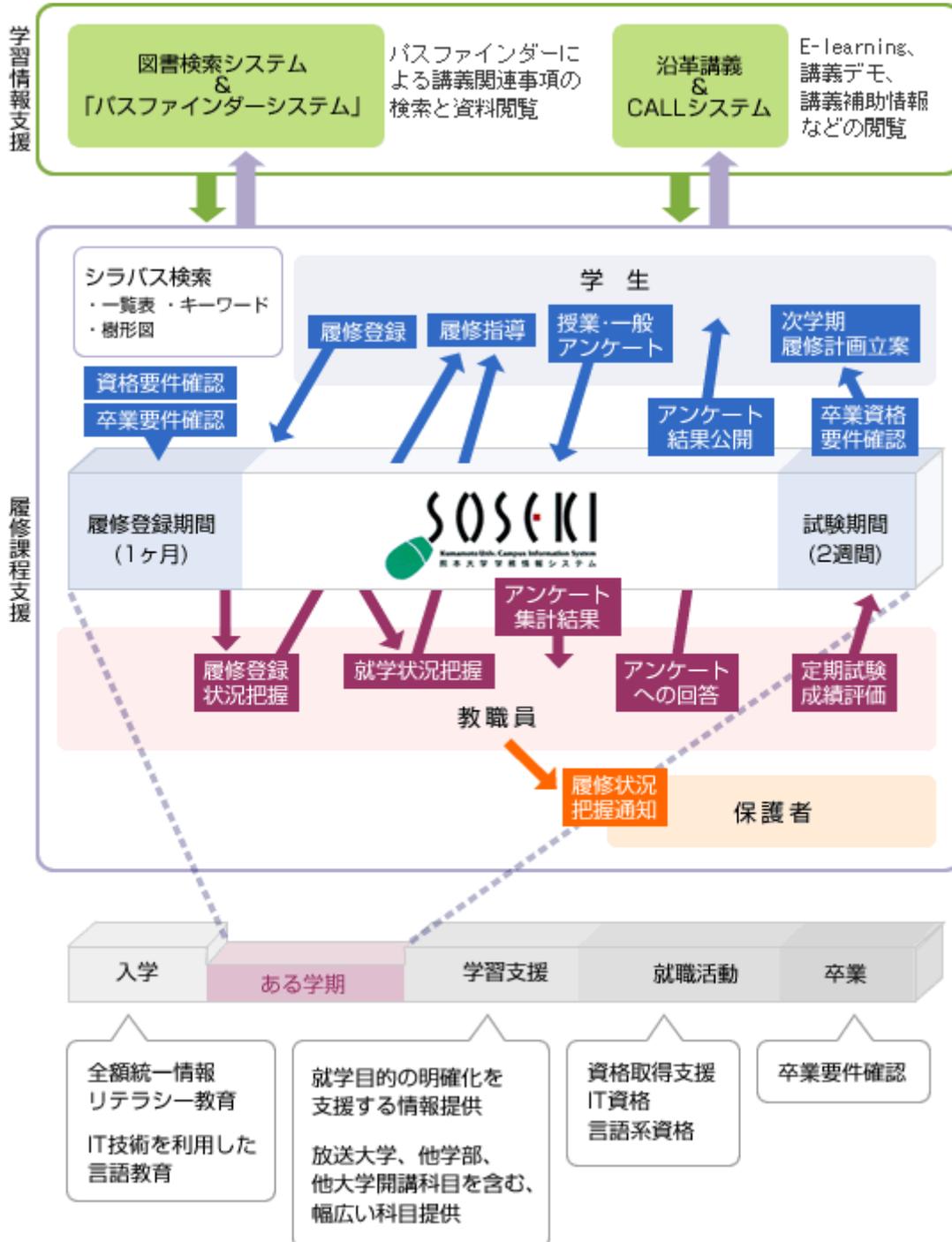


平成 15 年度 特色ある大学教育支援プログラム

学生の履修情報 や成績などを一括してコンピューター管理する学務情報システム「SOSEKI」は、学内 LAN (構内情報通信網) を利用し、学生がパソコン画面で履修講義 を選択したり、成績表や求人情報の閲覧、教官の授業評価等ができます。教官は年間の講義計画を作成したり、学生の受講状況を把握できます。

学習支援システム



熊本大学の取組の概要及び採択理由	
応募テーマ	主として学生の実習及び課外活動への支援の工夫改善に関するテーマ
取組名称	IT環境を用いた自立学習システム
申請単位	大学全体
取組の概要	<p>熊本大学は全国の大学に先駆けて、総合的な学務情報システム SOSEKI を全学的に開発・運用してきました。本システムを通じて、シラバスの作成、シラバスをもとにした履修登録、受講者把握と履修指導、学生による授業評価と教員による成績評価など、各種の教育情報交換を、一貫して敏速かつ緊密に行うことができるようになっていきます。</p> <p>当大学では、高度情報化キャンパス構築という将来構想の一環として、SOSEKI の機能強化と、各種学習情報機能のリンク形成を軸に、IT環境を用いた学生の自立学習支援システムを発展させる計画です。SOSEKI による履修課程支援の充実によって、学生が本学の教育プログラムを踏まえ、自己の関心と将来設計に従って、最適の履修計画を策定することなど、自主的な学習の計画・実施が容易になります。また学習情報支援の充実によって学習を深めるための情報、学習方法のアドバイスを、学生は自ら随時入手し、処理することができるようになる。</p>
採択理由	<p>この取組は、「自立的学習を支える情報システム」を実現するため、すでに7年にわたって実施されているものです。IT環境を用いた学習支援システムは今日では多くの大学で普及していますが、熊本大学はその先駆的な立場であり、多くの実績があり全学的体制のもと将来に向かって高度情報化キャンパスづくりの意欲が感じられます。今までの実績、大学の組織的な対応などから、個々の取組として先駆的なものであり、それらを総合的に統合する方法は、外の大学に対し十分参考になる事例と認められました。</p>